

## 平成28年3月の思いやり通信



### 電力自由化ってどうなるの？

- ・電力の自由化は「発電の自由化」「電気小売りの自由化」「送配電の自由化」。
- ・すでに自由化が進んでいる欧米では、電気料金が上がっています。
- ・需要と供給が一致するポイントで価格が決まります。
- ・天候や災害・燃料費などの理由で高くなってしまう可能性が十分あります。
- ・これからは太陽光等で日中発電した電力は、売電せずに蓄電池にためておき、夜間自宅で使うほうがお得になりそうです。

(2016年2月1日 大阪木材仲買協同組合仲買だより記事から抜粋)



### 風力増強 原発10基分に 能力3倍 脱・太陽光偏重へ

日本で風力発電の導入が加速。国内首位のユーラスエナジーHDと同2位のJパワーがそれぞれ2020年までに600億円規模を投資。国内全体の風力発電能力は現在の3倍、原子力発電設備10基分に増える見通し。

※風力発電 洋上設置 日本でも始動

風力で風車を回し、回転する運動のエネルギーを発電機で電気に変える発電方式。

発電時に二酸化炭素などの温暖化ガスを排出しないうえ、エネルギー源が枯渇する心配がないため、世界各地で導入が進んでいます。

欧州で導入が先行していて、国内の電力需要のうち、風力を基にした電気の割合は、デンマークは4割弱、スペインやアイルランドが約2割、ドイツは1割を風力で賄っています。

(2016年2月19日 日本経済新聞記事から抜粋)



### 太陽光パネル出荷15%減 2015年国内

#### メガソーラー用途一巡

太陽光発電協会が発表した2015年の太陽光パネルの出荷量は2014年比15%減でした。戸建て住宅用需要が伸び悩んだほか、大規模太陽光発電所(メガソーラー)の用途が一巡しました。2012年7月以降、初めて前年を下回りました。

(2016年2月24日 日本経済新聞記事から抜粋)



## 「超エルニーニョ」は予兆か 世界の気温、昨年最高 温暖化、加速期入りの恐れ 「平均とのずれ」最大

2015年の世界の平均気温は過去最高を記録しました。

長期的な地球温暖化に、「スーパー・エルニーニョ」とも呼ばれる熱帯太平洋の異変の影響が重なったとの見方が有力。これをきっかけに今後は温暖化が加速するのではないかとみる専門家もいます。

気象庁は過去30年間の平均との差を使っており、現在は1981～2010年の平均を基準としています。

2015年の世界平均気温の偏差（平均からのずれ）はプラス0.42度で、1891年の統計開始以来最も高くなりました。2位の2014年（プラス0.27度）、3位の1998年（プラス0.22度）を大きく上回っています。上位10位のうち1998年以外は21世紀になってからです。

（2016年2月25日 日本経済新聞記事から抜粋）

